

## 愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

### 研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認、病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用することにご了解いただけない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。

研究課題名	入院加療を要した歯性感染症に関する後ろ向き研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山 隆 (試料・情報の提供元の管理責任者) 徳善 紀彦
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) 歯科口腔外科・矯正歯科 (職名) 医員 (氏名) 徳善 紀彦
研究期間	研究機関の長の許可日 ~ 2025年4月30日
対象	2013年1月から2023年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち 歯科口腔外科・矯正歯科で歯性感染症と診断され、入院治療を行った患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要	歯性感染症は日常の歯科口腔外科診療において頻繁に遭遇する疾患であるが、時に重篤な経過をとり、外来治療だけでは対処できず、入院加療が必要となる場合があります。糖尿病や慢性腎不全などの基礎疾患を有する患者は炎症が重篤化しやすいため、適切かつ迅速に入院加療の必要性を判断しなければなりません。また、歯性感染症は炎症の波及による気道閉塞のリスクを有するなど解剖学的な問題点も抱えています。そのため、起因菌の傾向を把握し、適切な消炎処置と抗菌薬の選択などの対応が重要です。そこで、当科で入院加療を要した歯性感染症について検討を行うこととしました。
個人情報の取扱い	収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。患者さんを特定するための情報(対応表)は、院内で個人情報管理者が厳重に保管いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。 また、保管される試料・情報を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一

	切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院歯科口腔外科・矯正歯科 徳善 紀彦 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5393